

平成28年第8回田野畑村議会臨時会会議録（第1号）

招集年月日	平成28年 9月23日					
招集の場所	田野畑村役場					
開閉会日時	開会 平成28年 9月30日			議長	工藤 求	
	閉会 平成28年 9月30日					
応（不応）招議員 及び出席議員並び に欠席議員 出席 10名 欠席 0名	議席 番号	氏 名	出席 等別	議席 番号	氏 名	出席 等別
	1	大 森 一	出	6	中 村 勝 明	出
	2	畠 山 拓 雄	出	7	鈴 木 隆 昭	出
	3	上 山 明 美	出	8	中 村 芳 正	出
	4	菊 地 大	出	9	佐々木 芳 利	出
	5	上 村 繁 幸	出	10	工 藤 求	出
会議録署名議員	7	鈴 木 隆 昭		8	中 村 芳 正	
職務のため議場に 出席した者の氏名	事務局 局長	大 澤 喜 男	主任 主査	畠 山 哲		
地方自治法 第121条により 説明のため出席 した者の職氏名	村 長	石 原 弘		教 育 長	巖 敏 雄	
	副 村 長	酒 井 淳		教 育 次 長	畠 山 淳 一	
	総 務 課 長	佐々木 靖				
	政 策 推 進 課 長 復 興 対 策 課 長	久 保 豊				
	税 務 会 計 課 長	佐々木 卓 男				
	建 設 第 一 課 長 建 設 第 二 課 長	畠 山 恵 太				
	産 業 振 興 課 長	工 藤 光 幸				
	産 業 振 興 課 課 主 幹	工 藤 隆 彦				
	総 務 課 主 任 主 査	大 森 泉				
総 務 課 主 任 主 査	平 坂 聡		教 育 委 員 会 主 任 主 査	畑 山 正 明		
議 事 日 程	別紙のとおり					
会 議 に 付 し た 事 件	別紙議事日程のとおり					
会 議 の 経 過	別紙のとおり					

平成28年第8回田野畑村議会臨時会会議録

議事日程（第1号）

平成28年9月30日（金曜日） 午前10時00分開会

開 会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期決定
- 日程第3 諸般の報告
- 日程第4 行政報告
- 日程第5 議案第1号 平成28年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）
- 日程第6 議案第2号 平成28年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第3号）
- 日程第7 議案第3号 平成28年度田野畑村集落排水特別会計補正予算（第2号）

閉 会

◎開会及び開議の宣告

○議長【工藤 求君】 ただいまから平成28年第8回田野畑村議会臨時会を開会いたします。

ただいまの出席議員は10人であります。定足数に達しておりますので、会議は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

(午前10時00分)

◎議事日程の報告

○議長【工藤 求君】 本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付したとおりであります。

日程に従い進行します。

◎会議録署名議員の指名

○議長【工藤 求君】 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、議長において、7番、鈴木隆昭君、8番、中村芳正君を指名いたします。

◎会期決定

○議長【工藤 求君】 日程第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会の会期は本日1日間といたしたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○議長【工藤 求君】 異議なしと認めます。

よって、会期は本日1日間と決定いたしました。

なお、本日の会議予定につきましてはお手元に配付いたしました会期日程のとおりでありますので、ご了承を願います。

◎諸般の報告

○議長【工藤 求君】 日程第3、諸般の報告を行います。

村長から議案3件の送付があり、お手元に配付しておりますので、ご了承願います。

次に、監査委員より監査結果の報告書2件を受理しており、その写しをお手元に配付してありますので、ご了承を願います。

次に、会議等関係であります。印刷の上、お手元に配付しておりますので、ご了承を願いま

す。

なお、関係書類は事務局にありますので、ごらん願います。

これで諸般の報告を終わります。

暫時休憩いたします。

休憩（午前10時01分）

再開（午前10時02分）

○議長【工藤 求君】 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎行政報告

○議長【工藤 求君】 日程に従い進行いたします。

日程第4、行政報告を行います。

石原村長。

〔村長 石原 弘君登壇〕

○村長【石原 弘君】 9月9日から9月29日までの行政報告とさせていただきます。

9月11日、田野畑村敬老会開催、それから9月20日、財団の漁場漁村協会の災害状況調査、そして21日に岩手県漁場漁村協会として岩手県のほうに東日本大震災からの復旧、復興並びに台風10号に係る要望、それから漁港、漁村におけるさまざまな課題等に対する県への要望ということで行ったところであります。

9月27日、これまで各被災地の団地整備を行ってきたわけでありまして、ご案内のとおり平井賀郵便局はできたわけですが、島越のほうの手当てがこれまでできていないということで、就任以来、いろんな形で地区からの要望も受け、また郵政関連のOBの人たちからのお力添えをいただきながら島越の郵便局の復興ということで、そのフレームの基本的なところははや固まりまして、今後事務的な手続を踏まえながら早急に島越の郵便局を整備するというところで今協議を、詰めの作業を行い、その要望を行ったところであります。

その他は、お示しのとおりでございます。

終わります。

○議長【工藤 求君】 これで行政報告を終わります。

◎議案第1号の上程、説明、質疑

○議長【工藤 求君】 日程第5、議案第1号 平成28年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長【佐々木 靖君】 議案第1号 平成28年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）についてご説明いたします。

歳入歳出予算の補正でございますが、今回1億580万6,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ68億5,413万3,000円とする内容でございます。

3ページをごらん願います。第2表、地方債補正の追加でございます。林業施設災害復旧事業（現年災）の限度額を260万円、農業施設災害復旧事業（現年災）の限度額を160万円、公共土木施設等災害復旧事業（現年災）の限度額を2,000万円、それぞれ補正する内容でございます。

6ページをごらん願います。主なものについてご説明いたします。歳入でございます。17款繰入金の1目財政調整基金繰入金でございますが、財政調整基金繰入金といたしまして7,533万2,000円を追加計上してございます。

次に、19款諸収入の1目雑入でございますが、台風10号災害見舞金といたしまして、青森県藤崎町から20万円、全国町村議会議長会から3万円、ほか1件と、音楽芸能フェスティバル開催等事業費補助金合わせまして333万円を計上してございます。

7ページをごらん願います。歳出でございます。2款総務費の6目企画費の19節負担金補助及び交付金でございますが、協働のむらづくり推進事業費補助金といたしまして1,236万2,000円を追加計上してございます。これは、台風10号の豪雨により流出いたしました生活橋の復旧に当たり、2自治会から要望のありました9つの生活橋に対しまして9割を限度として補助しようとするものでございます。

以下、台風10号による災害からの復旧に要する必要額等を各費目にそれぞれ計上しているところでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いたします。

○議長【工藤 求君】 質疑を許します。

9番、佐々木芳利君。

○9番【佐々木芳利君】 協働のむらづくりの補助金事業ですか、素早い対応をいただきまして、大変ありがとうございます。2つの自治会とありますが、自治会名が、もし差し支えなければ教えてください。

○議長【工藤 求君】 総務課長。

○総務課長【佐々木 靖君】 ただいまのご質問でございますが、2つの自治会名でございますが、七滝自治会と甲地自治会、2つでございます。

○議長【工藤 求君】 9番、佐々木芳利君。

○9番【佐々木芳利君】 自治会事業、自治会契約になると思いますが、自治会はいろんな面で素人といえますか、わからない点がたくさんあると思いますので、関係部署におきましては工事の完

成までしっかりサポート、アドバイスをお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

○議長【工藤 求君】 石原村長。

○村長【石原 弘君】 補助ですし、村として、また要請を受けて工事等々の管理についてできる範囲で支援したいと思っています。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 本当に9番と同様のありがたい思いなわけですが、例えば七滝の、名前言いますが、熊谷キミさんの個人橋と言えるかどうか、七滝地域と甲地自治会、甲地自治会のほうは誰がどう考えても全く純粋な個人橋というふうに私も思うのですが、七滝の熊谷一男さんでない、一男さんのところは個人橋だと思うのですが、熊谷キミさんの橋は村道ではないにしろ純粋な個人橋ではないというふうに思うのですが、当局はどうお考えでしょうか。

○議長【工藤 求君】 石原村長。

○村長【石原 弘君】 要するに、今回生活に困窮するという点で、それはやはりコミュニティーとしても生活を維持するという点でも必要だ。また、我々がこの事業をする上で、そもそも生活で往来していた、そして河川敷居の公共の場が後で河川敷を制定したわけですので、ここらの背景を踏まえれば、それは補助対象として、そこを限度としてやれるのだということで整備したところですので、その範疇の中に今の議論はあるとご理解いただければ、ありがたいなと思います。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 大方わかりました。流れたわけですから、生活本来が大変でありまして、10%負担でやるのには賛成なのですが、将来過去の経過もる皆さんご承知のとおりですので、あそこを一本にまとめた、奥のほうには森林組合関係の植林地もあったり、個人の牧草地もあるようですから、木材等を積んだ11トントラックでも通れるような橋が必要だというふうなことが地域の皆さん要望しているようですので、村でもそういうことについては将来考えていただきたい。要望というか、答弁もいただきたいわけですが、どうでしょうか。

○議長【工藤 求君】 石原村長。

○村長【石原 弘君】 これは、前々の村長時代から山の施業をするために目的道路として整備計画があったということは私はお聞きしていますので、そういったこと、橋が目的ではなくて、山を施業したいのだ、山に必要な林道が必要なのだということの整理がつけられれば、それは事業として採択していくという流れの中の一つとして橋の整備が必要だということになると思いますので、そういった森林所有者との合意形成ということが必要だと思いますので、そういったことは踏まえて進めてまいりたいと思います。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 細かい箇所では恐縮なのですが、個人名を出せばちょっと質疑がうまくないなと思いますので、今回協働のむらづくりの予算措置に当たっては、これは恐らく業者に頼んで見

積書をそれぞれ個人橋、とったと思うのですが、今回の補正措置以外に純粋に村の税金投入で橋に関連をした、流れてしまった護岸工事、これは10%負担でなく、村の責任か県の責任かで護岸工事を付随してしなければならない分があると思うのですが、当局はこれについてはどんなふうにお考えでしょうか。もし流れたところの橋と一緒に護岸も工事しなければならない分も総額で個人の10%負担に求めてしまうと負担が大変になるというふうな心配な部分も、個人名は言えませんが、おありのようですから、そこはどうお考えでしょうか。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 災害復旧、補助災害です、それとして採択される見込みのある箇所につきましては、今度11月末に査定ございますが、そちらのほうに出そうと考えております。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 細かい質疑で恐縮なのですが、そういったしますと今の答弁も非常にありがたい答弁だと私は思うのですが、協働のむらづくり推進事業費補助金追加の1,236万円については護岸工事がこの中に、予算措置の中に含まれているかどうか、お聞かせをいただきたいと思いません。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 護岸につきましては入っておりません。

○議長【工藤 求君】 8番、中村芳正君。

○8番【中村芳正君】 大震災からの復旧、復興に向けて、長嶺線、きたあたりから北山崎の信号まで工事やっているわけですが、机から来たやつが信号からちょこっと来たところまではできて、その最後のところでいろいろ地元の人たちから利便性にちょっと問題というのだから、いい道路でないというようなことを言っているようです。カーブもとれたり、枝も切ったりしたにもかかわらず、道路が下がったり上がったりして、何でこんな道路をつくるのかなと、そういった話も聞いていますが、当局のほうではそのことに対してはどのように考えていますか。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 今のご質問ですが、今月の定例会でも同様のご質問ございまして、その後修正できないかなということで検討はしてございます。

○議長【工藤 求君】 8番、中村芳正君。

○8番【中村芳正君】 結構人は少ないところで、一番人、住居、家もある中で、やはりそばにいる人たちは利便性をすごく感じると思うのです。思っていると思います。

そこで、住民の人たちと意見交換をじっくりして、それを大切にして工事を考えていただけないものかどうか、そのことについてどう思っているかお聞きします。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 工事につきましては、説明会を開いてございまして、実際のところ

は図面で見てもわからなくて、でき上がってきてからちょっとという話なのだと思います。それで、周りの方たちには個々に説明しながら進めていきますし、あと修正する場合についても同様に説明はしていきたいと考えております。

○議長【工藤 求君】 8番、中村芳正君。

○8番【中村芳正君】 誤解も、そういうの含めて、本当にでき上がってこないと、なかなか、平井賀等見てもそうなのですが、防潮堤やるときに迂回路が不便になってみたり、そういうことがあって何とか交渉すればその利便性も解消してもらえたりやって、だんだん、こうでき上がってくればなるほどなど、そういったようなことからいい道路ができるのだなというようなことがあるのです。大方が迂回路が出れば、これが本当の道路だろうかと、こう思っているのは、迂回路というのはなかなか理解もされないし、工事進めながらもなかなか理解できないことだと思いますので、その点は注意して、皆さんからも理解されながら工事進めていってもらいたいと思いますが、くどいわけですが、そのことについてもう一度答弁願います。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 平井賀でございますが、かなり盛り土が高くなります。そのため、一回に通行どめをして盛り土をすれば漁港の利用ができないということで、申しわけありませんが、道路を何回も切りかえながらやらせていただいているところでございます。切りかえに当たりましては、皆さんにチラシをお配りして、こういうふうにもた道路が変わるよということでお知らせして切りかえているところでございます。

○議長【工藤 求君】 8番、中村芳正君。

○8番【中村芳正君】 平井賀の部分は、業者の人たちも、私と行ったわけですが、やっぱり建設だよりを出してもらって、そういったこと、また村のほうも説明もしたりして、まずまず漁業の生産活動にも本当に利便を確保していただきました。今言った北山崎についてもできるだけこういう道路ができるのですという、現地に行ってやってもらえればなと思いましたが、よろしく願います。答弁はいいです。

○議長【工藤 求君】 1番、大森一君。

○1番【大森 一君】 今回の台風10号のあれですが、急傾斜地の崩壊危険箇所というのは、大体押さえておるか。あと地すべり危険箇所、こういうのはきちんと村として押さえておったかどうか。今回畑作や、あとは畑への流水、そういうようなのはこういう急傾斜地の危険箇所とか地すべり危険箇所というのをきちんと捉えておれば、もし農家の人たちがそれで自分の置かれているのを知っておれば防げた面もあるのではないかと思います、そういう箇所をきちんと押さえていますか。

○議長【工藤 求君】 総務主任主査。

○総務課主任主査【平坂 聡君】 ただいまのご質問でございますけれども、県のほうから示された

土砂崩壊危険箇所というのは、村のほうでも押さえております。

○議長【工藤 求君】 1番、大森一君。

○1番【大森 一君】 今回の災害を見て、それと違う部分というのはあったかと思いますが、現在まで押さえておったのと変わりはなかったですか。

○議長【工藤 求君】 平坂総務主任主査。

○総務課主任主査【平坂 聡君】 現在まで押さえている土砂崩壊危険箇所とは別な場所で、今回は主に被災したというような状況でございます。

○議長【工藤 求君】 9番、佐々木芳利君。

○9番【佐々木芳利君】 もし林業、山林被害等の被害面積等は把握しておりますか。

○議長【工藤 求君】 産業振興課長。

○産業振興課長【工藤光幸君】 ただいまのご質問でございますが、山林被害につきましては森林組合等にも問い合わせしておりますが、まだといいますか、そういったほうから特に報告とか、そういったものは入ってきていない状況でございます。

○議長【工藤 求君】 9番、佐々木芳利君。

○9番【佐々木芳利君】 災害復旧の林業施設400万円と農業施設250万円、この概略を説明してください。

○議長【工藤 求君】 産業振興課長。

○産業振興課長【工藤光幸君】 林業施設でございますが、これ林道2件でございます。1件がオマルベ線といいまして、旧国道、思惟大橋の下のところでございますが、その浜岩泉側の一本突っ込んでいく大きいカーブのところ、山に入っていく道路でございます。

それから、あと1件が巢合線でございますが、これは巢合地区を過ぎていった旧リンゴ畑のところでございます。

それから、農業施設のところは、松長峰線ののり面が崩れたところでございます。

○議長【工藤 求君】 7番、鈴木隆昭君。

○7番【鈴木隆昭君】 説明したのに私が聞き漏らしたのであれば、ここでまず最初おわびから入りますが、6ページの諸収入の雑入で音楽芸能フェスティバル開催等事業助成金300万円繰り入れされたわけですが、これは国県の補助ではないのですね。どこかからいただいたわけですね。そのいただいた先を、差し支えなければお示しいただきたいのと、使途として、多分これは教育費の社会教育総務費の部分で使うという、郷土芸能等CD・DVD製作委託料の追加という項目があるのです。これに使うというように私からすれば読み取れるような気がするのですが、どうなのでしょう。そこら辺、ご説明を求めたいと思います。

○議長【工藤 求君】 畑山教育委員会主任主査。

○教育委員会主任主査【畑山正明君】 今の質問にお答えします。

当初補正で制作委託料ということで村費で補正されて実施していただいておりますけれども、あわせてNTTドコモ東北応援社員募金というのがあります。そこに応募したところでもあります。幸い300万円をCD化と同じような部分に寄附を決定して、お使いくださいというのが最近あったものですから、それを組み替えにして300万円をいただいて、全部使うというような条件なので、そのための300万円もらって、次に前とっていた予算と組み替えしまして、今度の補正予算に出したところでもあります。中身は、前に説明したとおりでいいと思いますので、そういう内容ですので、よろしくをお願いします。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 9月12日現在の災害復旧状況を当局からいただきました。それを私なりに見た結果、2分団の方から連絡をいただいたのですが、松前川、松前沢災害公営住宅の上流、七滝側、恐らく2級河川でありますから、県工事だと思っております。一定程度護岸工事が七滝側のほうから進んでいるのです。消防団の方と私も現地を見たのですが、あそこは今回幸いにも運がいいといいますか、松前沢の災害公営住宅には床下浸水はなかったようですが、あれはやっぱり護岸工事を延長しないと将来は危なくなってしまうというふうに消防団の方も心配しておられて、私もそう思ったのですが、一覧表にはないようなのですが、このことについては当局は把握しているかどうか、お聞かせをいただきたいと思っております。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 現地は、確認させていただいております。その団地の高さで、たしか約1メートルぐらいのところまで水は上がったようでございます。そのことにつきまして、避難も実際ございましたので、岩泉土木センターのほうに連絡いたしまして、現場も確認してもらいました。ただ、まだ災害としては出せる状況ではございませんので、今後引き続き護岸整備について要望はしてまいりたいと思っております。

○議長【工藤 求君】 6番、中村勝明君。

○6番【中村勝明君】 今の件はわかりました。

それと、私の住んでいる沼袋なのですが、名前を言ったほうがわかりやすいのですが、普代川筋で前から危険性があるというふうに、部落を挙げてそう思っているのですが、熊谷卓治さんの裏、あれは新たに私は確認したのですが、今回の大雨、台風でひびが入った。ひびが入ったということは、もろに危ないというふうに思うのですが、これは今回の災害には入っていないようなのですが、そもそも災害状況、災害の判断が県の考え方と我々の意識にずれがあるようなのです。がちり家が壊れてしまわないと、崖が崩れて家が壊れてしまわないと災害とみなさないというふうな変な考えが県にあるようなのです。これは、ぜひ村の当局を先頭にして、何とか急いで、住んでいる方は心配で心配でたまらないのです。私も大雨のたびに言われまして、本当に大変だなと思うのですが、村の認識はどうでしょうか。村の認識というか、担当課の。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 2級河川ですので、おっしゃるとおり県管理の河川でございます。

それで、確かに前よりも崩れは広がってきております。それで、現場見るようにお願いして、その結果全部ではないのですけれども、今回災害査定に出すことになっております。現地にくいが入っております。ただし、上流側のほうが岩が露出しているということで延長が思ったとおりではないというのは事実でございます。

○議長【工藤 求君】 8番、中村芳正君。

○8番【中村芳正君】 今回のあれを見て、やっぱり災害に対応をした、津波だけではなく、ハザードマップというのも考えておると思いますが、そういうのをきちんと作成する必要があるのではないかな。例えば松前川でももし今回川が氾濫したとしたら移転の団地はまずほとんどだめだったろうという地区民の声が多いのです。そして、コミュニティまで避難してくるのもとても危険ではないか、こういう声も上がっている。だから、最近は、もう頻りに集中豪雨とか、いろいろ、私に言わせると今回の岩泉の状態を見れば山津波だというふうに私自身は認識しておりますが、そういうことにもやはり、今回は無事だったかもしれないけれども、水害、津波のハザードマップはありますけれども、そういう川の氾濫等についてのハザードマップというようなのも考えておく必要はあるかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○議長【工藤 求君】 石原村長。

○村長【石原 弘君】 認識は同じく考えております。今回たまたま1時間雨量が、もし今までアイオン台風以上のものが宮古で観測されたということになって、たまたま田野畑に降らなかったということですので、なった場合、もしくはあれが1時間で済んだのですけれども、それが2時間、3時間になった場合はもう想像絶するような状況になりますので、そういった意味で専門家の指導をいただきながら今言った形をどういうふうにして命を守るかということはしっかりやらなければならない。そういうことで、今内部では指示して、防災計画の山津波に対する、それ以外のものの要因も含めて、予見したものに対してそれなりにおさめるということをしかりやらなければならない、そういう認識でございます。

○議長【工藤 求君】 4番、菊地大君。

○4番【菊地 大君】 今の質問に関連ですが、下流域では土砂の堆積が結構あると思うのです。ですから、50センチ土砂がたまれば堤防が50センチ下がったことになりますから、1メートルたまれば1メートル堤防が下がった理屈になるのです。ですから、例えば雨量がこれまでの最高の半分であってもまた次の災害が出る確率が高まってくると思うのです。ですから、下流域の土砂撤去もまず一つの今後の対応としては、行政では考えたり、県の要望等にぜひ入れてほしいと思います。要望です。

○議長【工藤 求君】 3番、上山明美君。

○3番【上山明美君】 いろいろ出ているように、今は県が災害と認める、認めないとか、査定を出して、いろいろあるのですけれども、実際災害に遭って困っている方々をともかくどうかしないと、一刻も早くということがまず先決だと思うのですけれども、それと並行して次に来たらここは危ないのではないとか、あふれるのではないとかという災害の査定とか、災害にはなっていないけれども、危ない箇所というはあると思うのです。やっぱり雨が降ったら崩れたことみたいな感じになってしまうという危険性をはらんでいると思うので、起こってしまった災害を復旧することと一緒に、災害が起きてから査定にかけてとかではなくて、起きそうなところは手当てをしないとだめだと思うのです。それというのは、災害を防ぐことになると思うので、いろいろお金の面とか予算の面とかあると思うのですけれども、災害と一緒に災害を防ぐのを進めていかなければならないのではないかなというふうに思うのですけれども、その辺の進め方とか取り組み方についてはどのように考えているのか、お伺いします。

○議長【工藤 求君】 石原村長。

○村長【石原 弘君】 これは、県及び国に対して、予見されることはしっかり伝えるということで、いろんな災害法上の整備のやり方というのは国の一定の基準があるようですけれども、今言ったように、そうではないということが岩泉で起きたわけですので、あの事例をしっかり見ていただきながら、今言うように、予見されるものをどういうふうに対処するかということも含めて、これは要望してまいりたいと思いますし、先ほど9番議員の話があったように、河床が上がっているということは岩泉も田野畑も同様の状況が起きているということは国、県には伝えて、その制度も若干あるやに聞いておりますので、やれるところは対処していきたいなと思っております。

○議長【工藤 求君】 3番、上山明美君。

○3番【上山明美君】 ありがとうございます。今回隣の岩泉町が本当に悲惨な被害に遭っているわけですけれども、例えば道路がここはつくっていたから助かったとかというところもあると思うし、三陸道絡みでこういうところがあって、小さいから孤立してしまって困っているとかいうところがあるし、実際こういう被害が起きていて困っているとか、もう起きるかもしれないというところを、先ほど言ったように強く強く訴えて、実際起きているわけですから、三陸道とか一年でも一日でも早く通せるものは通せるようにしてもらおうというような感じで、当局にもぜひ頑張ってもらいたいと思います。これは要望ですので、いいです。

○議長【工藤 求君】 これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(なしの声あり)

○議長【工藤 求君】 討論なしと認めます。

これより採決を行います。この表決は起立によって行います。

議案第1号 平成28年度田野畑村一般会計補正予算（第8号）についてを原案のとおり決定す

ることに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長【工藤 求君】 起立全員と認めます。

したがって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

◎議案第2号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長【工藤 求君】 日程第6、議案第2号 平成28年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第3号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長【佐々木 靖君】 議案第2号 平成28年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第3号）についてご説明をいたします。

歳入歳出予算の補正でございますが、今回150万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億9,176万9,000円とする内容でございます。

5ページをごらん願います。歳入でございます。3款繰入金の1目一般会計繰入金でございますが、一般会計繰入金といたしまして150万円を追加計上してございます。

6ページをごらん願います。歳出でございます。1款総務費の1目一般管理費の11節需用費でございますが、修繕費といたしまして150万円を追加計上してございます。これは、簡易水道沼袋区域の三沢取水施設の修繕を行おうとするものでございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長【工藤 求君】 質疑を許します。

(なしの声あり)

○議長【工藤 求君】 質疑なしと認めます。

これより討論を行います。討論はありませんか。

(なしの声あり)

○議長【工藤 求君】 討論なしと認めます。

これより採決を行います。この表決は起立によって行います。

議案第2号 平成28年度田野畑村簡易水道特別会計補正予算（第3号）についてを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(起立全員)

○議長【工藤 求君】 起立全員と認めます。

したがって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

◎議案第3号の上程、説明、質疑、討論、採決

○議長【工藤 求君】 日程第7、議案第3号 平成28年度田野畑村集落排水特別会計補正予算（第2号）についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

総務課長。

○総務課長【佐々木 靖君】 議案第3号 平成28年度田野畑村集落排水特別会計補正予算（第2号）についてご説明いたします。

歳入歳出予算の補正でございますが、今回170万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ8,071万8,000円とする内容でございます。

5ページをごらん願います。歳入でございます。2款繰入金の1目一般会計でございますが、一般会計繰入金として170万円を追加計上してございます。

6ページをごらん願います。歳出でございます。1款総務費の1目一般管理費の11節需用費でございますが、集落排水施設の停電時の電源確保のための発電機の修繕費といたしまして110万円を追加計上してございます。

以上でございます。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長【工藤 求君】 質疑を許します。

7番、鈴木隆昭君。

○7番【鈴木隆昭君】 1点だけお伺いいたしますが、公共下水道等の接続水洗化事業補助金追加60万円計上されておりますが、以前から気になっているのですが、公共下水道、加入率が低い状況が続いているかと思うのですが、現在どれぐらいの加入率になっているのか、アバウトでよろしいのですが、率につきましてお示しをいただきたいと思っております。

○議長【工藤 求君】 建設第一課長。

○建設第一課長【畠山恵太君】 60%弱だったはずですが。

○議長【工藤 求君】 7番、鈴木隆昭君。

○7番【鈴木隆昭君】 そこで、大変苦勞しているのだろうなと思っているわけです。ここから要望ですが、各住民、お金がかかることですので、積極的に推進というのも非常につらい部分はあるとは思いますが、やっぱり加入率の6割以下というのは、公共下水道として施設整備した効果とすれば出ていないという評価をせざるを得ない状況ではないかと思っておりますので、折に触れ加入率を上げる努力をしていただきたいという、これは要望だけにしておきたいと思っております。よろしくようお願いいたします。

○議長【工藤 求君】 これで質疑を終わります。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（なしの声あり）

○議長【工藤 求君】 討論なしと認めます。

これより採決を行います。この表決は起立によって行います。

議案第3号 平成28年度田野畑村集落排水特別会計補正予算（第2号）についてを原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（起立全員）

○議長【工藤 求君】 起立全員と認めます。

したがって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長【工藤 求君】 以上で全日程を議了したので、会議を閉じます。

平成28年第8回田野畑村議会臨時会を閉会といたします。

（午前10時45分）